

ベトナム

～国際交流員のまなざし～



国際交流員
アイン
8月末から9月初めにかけて、私は久しぶりにベトナムへ帰国しました。9月2日はベトナムの「建国記念日」であり、また同じ時期に「ブラン祭」の行事も行われます。今回の帰国にあわせて、私なりの視点でベトナム文化を少しご紹介します。

01 建国記念日-パレードと愛国心

首都ハノイに立ち寄った帰国中、ちょうどベトナム建国80周年の記念日でした。中心大通りでは壮大なパレードが整然と進み、人々の歓声が重なり合い、活気あふれる雰囲気を作り出していました。戦車や軍服、赤地に金の星の国旗、各部隊のパフォーマンスはどれも圧巻で、思わず見入ってしまいました。

海外に住むベトナム人として、歓声に包まれる群衆の中に立ちながら、胸に込み上げる誇りを強く感じました。小さな国旗を手に取り、人々と一緒に振りながら、心臓が早鐘のように打つのが感じました。国旗の入ったシャツを着て行進する人々の姿を見て、ベトナム人の団結力と愛国心の強さを改めて実感しました。ただ眺めるだけの景色ではなく、心に深く刻まれる体験であり、どれだけ離れていても、ベトナムは私の心の中にあるのだと痛感しました。



国旗と歓声にあふれる建国記念日のパレード

02 「ブラン祭」と家族との時間

帰国は「ブラン祭 (Vu Lan)」の時期と重なり、心が温くなるひとときでした。ブラン祭は両親への感謝を表し、先祖を供養する日で、日本のお盆にも似ています。特に、父を早くに亡くしている私にとって、母と祖母がそばにいてくれることの大切さを改めて感じる機会でした。

母と祖母と一緒に、ベトナム料理である鶏肉料理、ネム（揚げ春巻き）、春雨のスープなどを作り、供え物として丁寧に並べました。準備しながら母の微笑みを見つめ、胸に込み上げる感謝と感動を抑えきれませんでした。

食卓を囲み、母と祖母の笑い声を聞きながら、素朴だけれど深い幸せを感じました。夜には家族で花火を見に行き、輝く夜空を眺め、光が映す皆の笑顔を見て、家族が私にとって心の支えであり、安らぎであり、かけがえのない幸せの源であることを改めて実感しました。



供え物と花火

03 5年ぶりの親友との再会

5年以上ぶりに大学時代の親友たちと再会し、私たちは有名な観光地であるニャチャンの海辺の街へ向かいました。青く澄んだ海辺に足を踏み入れ、潮風を深く吸い込むと、シンプルながらも生きる力が湧き上がるような喜びに包まれました。私たちは泳ぎながら笑い合い、学生時代の思い出を語り合い、これまでメッセージでやり取りしていた思い出を改めて共有し、胸が温かくなるのを感じました。

新鮮なシーフードや人気のネムヌオン（焼き春巻き）を味わいながら、将来の夢や計画を語り合いました。久しぶりの再会で、青春を共に過ごした仲間との絆や愛情の深さを一層かみしめる機会となりました。夕暮れが訪れ、砂浜に立ち、波の音に耳を傾けながら、私は胸いっぱい幸福感が広がりました。それは祖国への誇り、家族の温まり、そして友情の喜びでもありました。



シーフードや焼き春巻き

花瀬川沿いに並べられた竹灯籠を眺めながら、初秋の夜のひとときを楽しむ観客の姿も。フィナーレの、オーケストラの演奏と打ち上げ花火のコラボレーションは圧巻でした。



9月6日に花瀬自然公園内でやまんなか音楽会が開催されました。天晴れやまびこ元氣組によるYOSAKOI演舞でスタートした音楽会。今年は、指揮者の木許裕介さんをゲストに迎え、日本海フェスティバルオーケストラによる壮大な演奏が響き渡りました。錦江町未来づくり専門員OGの伊藤愛さんと根占中学校吹奏楽部とのコラボレーションも披露され、会場から大きな拍手とスタンディングオベーションも生まれ、大いに盛り上がりました。

Kinko Town Pickup Photonews

幻想的な雰囲気にも包まれる やまんなか音楽会 in はなぞ



2年目/ プロのクリエイターから技を学ぶ Creema × 神川小ものづくり体験教室

昨年引き続き、神川小でハンドメイド通販サイト Creema とコラボした体験教室が開催されました。今年は革職人の yoki さんを講師に迎え、児童たちは町特産のヒラマサの皮を使った小物作りに挑戦。キーケースや小物入れ、バッグチャームなどを作成しました。作成した作品は Creema のサイトで販売する予定です。



yoki さんは茨城県を拠点に活動する革職人。2年前から錦江町を訪れ、昨年は活性化センター神川でのマルシェに出店されました。

鹿児島大学3年の柳川すずなさんは「あいのリタクシーと公共交通を組み合わせるとさらに使いやすくなるのでは」と提案しました。



地域の課題解決を目指して

鹿大生 フィールドワーク in 錦江

地域の課題解決に取り組める人材育成に向け、鹿児島大学が学部を超えて開設した教育プログラム「地域人材プラットフォーム」のフィールドワークが錦江町で開催され、学生5名が来町しました。町内企業等の視察や、盤山集落の住民や新田町長との意見交換などを行った学生たち。本町の良さや課題に触れた4日間となりました。